

自治体の課題、現状

令和6年度、部活動地域移行の試行として、卓球部、剣道部、バドミントン部の土日の練習を移行した。保護者、生徒をはじめ、地域スポーツクラブ、地域の方々、先生方の御協力により、8月より3つの部活動について移行が完了した。平日の部活動については、これまで通り顧問による指導を継続した。地域移行該当部は教員主体で土日に練習のみの日は設けないこととした。練習の日程等の連絡はスポーツクラブみらいホームページ予定表により確認することとした。急な連絡はスポーツクラブみらいと各学校、市教育委員会が連携する場合もあった。

課題は、少子化による小規模化により団体競技のチーム編成ができず、部活動の再編成が必要であること、専門性や意志に関わらず顧問を務める先生の指導体制がまだ残っていること、練習場所がこれまでの通学していた中学校以外の場所で活動が行われる場合があること等である。また、練習試合や大会の場合、各学校顧問または部活動指導員が引率することとなっている。これでは、教職員に頼る現状がある。これらの課題を解決するため、令和7年度以降も部活動改革が必要である。

地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	4校	全生徒数	1469人
域内の部活動数	48 部	実施した地域クラブ数	3 クラブ
全体の指導者数	12 人	全体の運営スタッフ数	2 人
主な運営団体	総合型地域スポーツクラブ スポーツクラブみらい		
主な種目	卓球 バドミントン 剣道		
平均的な活動回数	1~3回/月	所属生徒実数	107人
参加会費	0円/年	主な活動場所	市内各中学校 公民館

地域移行関連の取組、成果

<部活動地域移行連絡協議会 学校との連携>

- ・令和6年5月21日及び12月5日に市教育委員会において、つくばみらい市部活動地域移行連絡協議会を実施した。
- ・つくばみらい市中体連に市職員が参加し、部活動の地域移行の方向性を説明した。

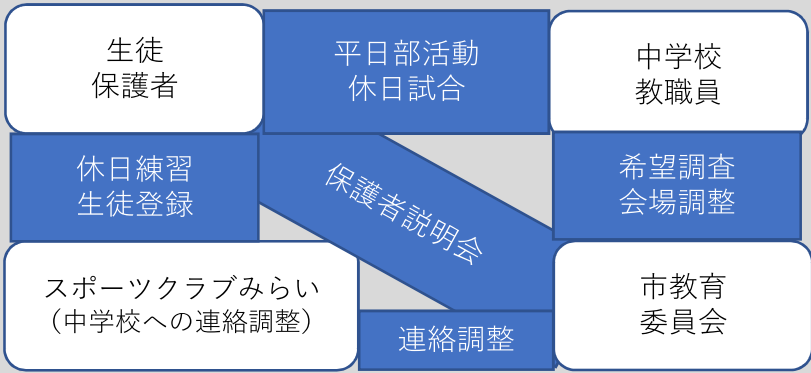
<保護者対象の部活動地域移行説明会>

- ・令和6年6月26日伊奈東中学校区、小絹中学校区の保護者を対象に部活動地域移行説明会を実施した。
- ・令和6年6月27日伊奈中学校区、谷和原中学校区の保護者を対象に部活動地域移行説明会を実施した。
- ・令和6年7月17日伊奈公民館、7月18日谷和原公民館において、小学校高学年5年生6年生の保護者を対象に部活動の地域移行説明会を実施した。

<スポーツクラブみらいによる指導者講習会>

- ・地域クラブ指導者に対しては、スポーツクラブみらいが主体となり、安全面・指導面に関する研修を2回実施した。
- ・スポーツクラブみらいのマネージャーが各指導者の意見を聞いたり、現場に訪れたりして連携が取れるようにしていた。

運営体制図



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

茨城県つくばみらい市

自治体名： 茨城県つくばみらい市
担当課名： 教育指導課
電話番号： 0297-58-2111

本報告書は、スポーツ庁の「令和6年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（運動部活動の地域移行等に向けた実証事業）」の一貫として、茨城県が実施した「令和6年度運動部活動の地域移行に向けた実証事業」の成果をとりとめたものです。

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	79.16 km ²
人口	53503人
公立 中学校数	4 校
公立中学校 生徒数	1469人
部活動数	48部活
市区町村の協議 会・検討会議等の 設置状況	随時、協議会を実施 している
市区町村の推進計 画・ガイドライン等の策 定状況	国や県の方針を参考 に市のプランを公表 ガイドラインは検討中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

スポーツ庁及び文化庁が令和4年12月に策定した「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」では、少子化が進む中、生徒が将来にわたりスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要があるとされている。また、これまでの部活動は教師の献身的な勤務によって支えられてきており、長時間労働の一因となっている現状がある中、国では公立学校における働き方改革の視点を踏まえ、部活動改革を進めている。つくばみらい市でも、これらの社会的情勢を踏まえて、部活動改革を進めていく必要があると考え、以下のように業務を進めた。

つくばみらい市では、つくばみらい市総合型地域スポーツクラブ「スポーツクラブみらい」を主体とした部活動の地域移行を進めている。

スポーツクラブみらいは「生涯スポーツ活動社会」及び、「生涯文化活動社会」を目指し「誰でも」「いつでも」「いつまでも」を合言葉にスポーツ活動や文化活動に親しむことができる「新しいコミュニケーションづくりの場」を提供している団体である。

令和6年度、部活動地域移行の試行として、卓球部、剣道部、バドミントン部の土日の練習を移行した。平日の部活動については、これまで通り顧問による指導を継続した。地域移行該当部は教員主体で土日に練習のみの日は設けないこととした。練習の日程等の連絡はスポーツクラブみらいホームページ予定表により確認することとした。急な連絡はスポーツクラブみらいと各学校、市教育委員会が連携する場合もあった。

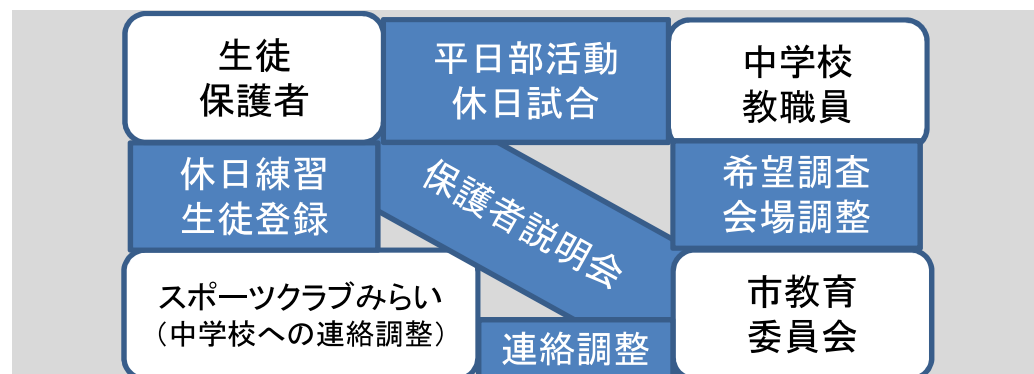
課題は、少子化による小規模化により団体競技のチーム編成ができず、部活動の再編成が必要であること、専門性や意志に関わらず顧問を務める先生の指導体制がまだ残っていること、練習場所がこれまでの通学していた中学校以外の場所で活動が行われる場合があること等である。また、練習試合や大会の場合、各学校顧問または部活動指導員が引率することとなっている。これでは、教職員に頼る現状がある。これらの課題を解決するため、令和7年度以降も部活動改革が必要である。

保護者、生徒をはじめ、地域スポーツクラブ、地域の方々、先生方の御協力により、8月より3つの部活動について移行が完了した。

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



生徒・保護者の動き

令和7年4月

2、3年生は現在所属する部活動を継続。卓球、バドミントン、剣道については、地域移行を継続。1年生は、部活動を選択し入部の手続きをする。この時点で卓球、バドミントン、剣道については、土日の部活動は、地域移行している。

令和7年5月

自分の入部した部活動で引き続き練習や試合等に励む。

令和7年6月

地域移行対象部活動が決定する。対象となった部活動については、8月以降の土日の練習会場や時間がこれまでと異なることがある。保護者説明会を実施予定であるので参加していただきたい。

令和7年7月

自分の入部した部活動で引き続き練習や試合等に励む。

令和7年8月中旬～

地域移行が決定した部活動の生徒は、土日の練習をスポーツクラブみらいに所属して行うことになる。（所属するかは自由に選択できる）

令和7年9月以降

土日の練習については、スポーツクラブみらいに所属して行う。

中学校教職員の動き

令和7年2～3月

部活動の土日の練習について、兼職兼業を希望する場合、所定の手続きを行い、登録をする。

令和7年4月

新たにつくばみらいに転入した先生方にも兼職兼業の登録を伺う。

令和7年6月

地域移行対象部活動が決定する。校長会、市中体連連絡協議会等で先生方に周知する。保護者説明会を実施予定であり、生徒、保護者にも通知していく。

令和7年8月中旬～

地域移行対象部活動の地域クラブ活動指導者（時給1600円）となり、土日の練習をスポーツクラブみらいに所属して行う。

令和7年9月以降

土日の練習については、スポーツクラブみらいに所属して行う。

保護者、生徒をはじめ、地域スポーツクラブ、地域の方々、先生方の御協力により、8月より3つの部活動について移行が完了した。令和7年度は、市内に勤務する教職員の兼職兼業の希望調査や部活動の再編成の状況を考慮した改革を進める予定である。

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	4 校	実施した地域クラブ総数	3 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3 クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	12 人	全体の運営スタッフ数	2 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
バドミントンクラブ	スポーツクラブみらい	バドミントン	月1～3回程度	およそ9時から12時	中学校1年・2年	令和6年8月より	伊奈東中学校	4 人	2 人	月会費 0 円 ／ 年会費 0 円	ここでは、チームを作らないので参加しない
剣道クラブ	スポーツクラブみらい	剣道	月1～3回程度	およそ8時から11時	中学校1年・2年	令和6年8月より	伊奈中学校	3 人	2 人	月会費 0 円 ／ 年会費 0 円	ここでは、チームを作らないので参加しない
卓球クラブ伊奈	スポーツクラブみらい	卓球	月1～3回程度	およそ9時から12時	中学校1年・2年	令和6年8月より	伊奈中学校	5 人	2 人	月会費 0 円 ／ 年会費 0 円	ここでは、チームを作らないので参加しない
卓球クラブ谷和原							谷和原公民館				
卓球クラブ小絹							小絹中学校				

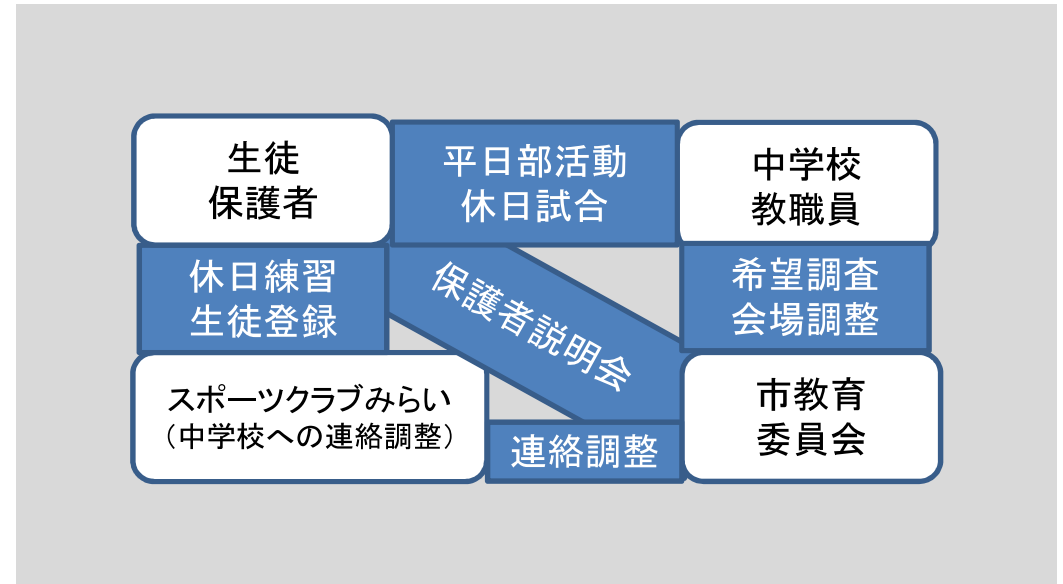
2.実証内容と成果

主な取組例

●活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バドミントン、剣道、卓球
運営団体名	スポーツクラブみらい
指導者の主な属性	市民を中心とした地域の協力者 中学校の部活動指導員を兼務している場合もある
活動場所	市内各中学校 市公民館
主な移動手段	保護者に委ねているが自転車や自家用車での送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者

役割：指導者への連絡調整、生徒保護者へ活動予定、計画を周知する。

●指導者 12名

役割：活動における指導、活動予定の報告、実施報告を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

令和6年5月21日市教育委員会において、つくばみらい市部活動地域移行連絡協議会を実施した。また、つくばみらい市中体連に市職員が参加し、部活動の地域移行の方向性を説明した。

令和6年6月26日伊奈東中学校区、小絹中学校区の保護者を対象に部活動地域移行説明会を実施した。令和6年6月27日伊奈中学校区、谷和原中学校区の保護者を対象に部活動地域移行説明会を実施した。また、令和6年7月17日伊奈公民館、7月18日谷和原公民館において、小学校高学年5年生6年生の保護者を対象に部活動の地域移行説明会を実施した。

地域クラブ指導者に対しては、スポーツクラブみらいが主体となり、安全面・指導面に関する研修を2回実施した。スポーツクラブみらいのマネージャーが各指導者の意見を聞いたり、現場に訪れたりして連携が取れるようにしていた。

保護者に対する説明会の結果

伊奈中の説明会について(参加者数22名)

卓球とバドミントンの地域移行に関するご質問が中心だった。温かい雰囲気でお話を聞いてくださり、終了後は教職員の働き方改革が推進できないかという建設的な意見もあった。説明は30分ほどで、質疑応答が20分程度だった。その後、20分ほど保護者の個人的な質問について市職員が回答した。

伊奈東中での説明会について(参加者7名)

地域移行における、具体的な確認や質問が多かった。伊奈東中での参加者は2年生の保護者が4名3年生の保護者が1名、そして議員2名が参加していた。「部活動指導員と外部指導員の違いは何か」「小学校5年生に弟がいるが、バドミントン部がなくなってしまうと聞いている、大会や練習試合には出られるのか」「部活動指導員はきちんと指導ができるのか」といったものが主な内容だった。途中、校長も学校の状況と地域移行の流れを説明したり、参事が他市の様子や部活の種目によって状況に違いはあるが、地域移行の現状を説明したりした。終了後は、保護者や議員との30分ほどの交流があった。

谷和原中の説明会について(参加者15名)

1年生の保護者10名、2年生の保護者4名、3年生の保護者1名であった。円滑に会は進み、質疑も多くあった。来年度も説明会を開催してほしいという要望もあった。

小絹中での説明会について(参加者数20名)

8月からの地域移行対象部活動に生徒が所属する保護者が多かった。説明の際は、穏やかな雰囲気で行った。質疑応答の時間には、地域移行の資料の内容についての確認が多かった。40分程、質疑応答の時間があり、多くの質問があった。終了後は市職員と卓球部の保護者で30分程度の話合いがあった。また、地域クラブ活動指導員も参加しており、これからの対応について情報を共有した。

今後の課題と対応方針

部活動の地域移行に関しては、全国的に見てもまだ課題が多いと考えられる。この改革で一番大切なのは、主体となる生徒や保護者の気持ちである。すべての要求に応えることはできないとしても、できる限りの検討をしていく必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

スポーツクラブみらいが雇用主となり指導者を確保している。指導者については、地域の方で、各競技の経験歴や指導歴をもつ者とした。これ以外に、高校生がボランティアで手伝ってくれている場合もある。

登録者属性

つくばみらい市内の中学校で部活動指導員として活躍している方々が多い。その他、市の会計年度職員として勤務している方に協力いただいた。また、これまでにスポーツクラブみらいと関係があった指導者に声をかけ指導の依頼をした。これ以外に、広報活動をスポーツクラブみらいのHPを通して実施している。

種目と指導員の特徴

剣道
・有段者で、部活動指導員の経験がある。
卓球
・これまでに学校と携わった方が多く、部活動指導員の経験がある場合もある。
バドミントン
・部活動指導員や部活動外部指導者の経験がある。

指導者研修の内容

令和6年9月9日市教育委員会にて吉田多一郎氏(スポーツクラブみらい所属クラブマネジャー)を講師として「部活動地域移行に関して」という演題で講演を実施していただいた。内容としては、これからの部活動地域移行に関すること、スポーツクラブみらいに関すること、安全管理、生徒指導に関することが主だった。参加者は各中学校の部活動担当者、つくばみらい市部活動指導員、つくばみらい市部活動外部指導者(任意の参加)とした。

また、7月に地域クラブ活動指導者対象に、つくばみらい市スポーツクラブみらいの本部にて、研修会及び地域移行の打ち合わせを実施した。

受講者の声

・このような研修会があると安心する。他の指導者がどのように考え、感じているかを知ることができた。
・この打ち合わせをもっと実施してほしい。意見交換等を行っていききたい。

今後の課題と対応方針

・競技ごととなると、どうしても孤独感を感じてしまう場合がある。定期的に研修会を実施することで情報交換等を実施していききたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項	活動の詳細
【バドミントンクラブ】 講師：バドミントン指導経験者 会場：伊奈東中学校体育館 日時：土曜日又は日曜日 3時間程度 （準備・片付け時間を含む） 対象：中学生（1, 2年生） 送迎：保護者又は自転車など 準備物：ラケット ※更衣室は男女別であります。	 令和6年度、バドミントンクラブについては、伊奈中学校と伊奈東中学校の生徒が参加した。
【剣道クラブ】 講師：長井尚之先生 会場：伊奈中学校武道場 日時：土曜日又は日曜日 3時間程度 （準備・片付け時間を含む） 対象：中学生（1, 2年生） 送迎：保護者又は自転車など 準備物：防具、竹刀、タオル、水筒 ※更衣室は男女別であります。	
【卓球クラブ】 講師：飯田勝彦先生 会場：伊奈中学校武道場 日時：土曜日又は日曜日 3時間程度 （準備・片付け時間を含む） 対象：中学生（1, 2年生） 送迎：保護者又は自転車など 準備物：ラケット ※更衣室は男女別であります。	
【卓球クラブ】 講師：島崎堅理先生 会場：小絹中学校卓球場（武道場） 日時：土曜日又は日曜日 3時間程度 （準備・片付け時間を含む） 対象：中学生（1, 2年生） 送迎：保護者又は自転車など 準備物：ラケット ※更衣室は男女別であります。	
【卓球クラブ】 講師：寺田寿子先生 会場：谷和原公民館卓球場 日時：土曜日又は日曜日 3時間程度 （準備・片付け時間を含む） 対象：中学生（1, 2年生） 送迎：保護者又は自転車など 準備物：ラケット ※更衣室は男女別であります。	

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

令和6年度、つくばみらい市は、茨城県教育委員会が実施する令和6年度運動部活動の地域移行に向けた実証事業を、委託要項に基づき、1,253,000円で契約した。事業内容としては、「広域的な活動を行う総括コーディネーター等を配置し、関係団体との連絡調整・指導助言等を行う。」「総括コーディネーターが中心になって、総合型の地域スポーツクラブと学校をつなぎ、休日の部活動の指導者の勤務状況等を把握し、市町村担当につなぐ。」「本市には、総合型地域スポーツクラブ(スポーツクラブみらい)が存在し、休日の部活動の地域移行に係る指導者をスポーツクラブみらいから派遣する形式を試行する。」である。つくばみらい市(再々委託先)は、スポーツクラブみらい(再々々委託先)と3,181,760円で委託契約した。

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

令和6年度を参考に、受益者にどれだけの負担が必要か算出すると、

3,181,760円 参加人数約100名
一人当たり約31,818円
8月より、月3回実施したとすると、3月までで24回
一回当たり約1,325円
以上より、月会費は3,978円程度を見込む必要がある。

しかし、課題としてクラブへの参加はの自由であるため、想定した人数の増減があり得る。また、保護者説明会で補助の必要性がある意見をいただいていることから行政で検討することが必要である。

令和7年度に地域クラブに係る経費

予算関係<令和7年度>

【消耗品費】

卓球各所 70000円
計210,000円

バドミントン
計210,000円

剣道
計210,000円

未種目各所 70000円 3か所分
計210,000円

未種目各所 52500円 4か所分
計210,000円

仮吹奏楽 計210,000円

【地域移行コーディネーター】

1600円×7時間×50日
計560,000円

【地域部活動(スポーツ)指導者謝礼時給1600円】
36回分(12か月分)×24人
計4,147,200円

【スポーツ安全保険】
一人800円×1,549人分
計1,239,200円

以上計 7,206,400円

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●各クラブ活動の様子



【卓球クラブ】 講師：飯田勝彦先生
会場：伊奈中学校武道場
日時：土曜日又は日曜日 3時間程度
(準備・片付け時間を含む)
この他、谷和原中、小絹中でも実施

<参加者の声>



【バドミントンクラブ】
会場：伊奈東中学校体育館
日時：土曜日又は日曜日 3時間程度
(準備・片付け時間を含む)

<参加者の声>

- ・普段の部活とは違い、シャトルをシャトルをたくさん打てるのがうれしい。
- ・指導者の先生が専門家なので技術が向上するし、ルールも正しく理解することができる。
- ・普段と環境が違うので、新鮮で良い面もあるが、慣れないのがある。



【剣道クラブ】
会場：伊奈中学校武道場
日時：土曜日又は日曜日 3時間程度
(準備・片付け時間を含む)

<参加者の声>

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

●総括

令和6年度は、部活動地域移行の試行として、卓球部、剣道部、バドミントン部の土日の練習を移行した。平日の部活動については、これまで通り顧問による指導を継続した。

部活動の地域移行について、つくばみらい市総合型地域スポーツクラブ「スポーツクラブみらい」を活動の主体として計画を進めた。

令和7年度は、部活動地域移行の試行として市内の複数の土日の練習を移行する。また、教員の部活動の希望調査を実施し、土日の兼職兼業の規定・運用を策定・改善する。

<令和6年度のこれからの予定>

- 12月 部活動地域移行に関する会議
地域移行後のスポーツクラブに関するアンケート
- 1月 部活動地域移行に関する会議 先生方への説明会
新入生説明会における地域移行の説明
伊奈2/6 伊奈東1/31
谷和原1/30 小絹1/28
- 2月 部活動地域移行に関する会議
- 3月 部活動地域移行に関する会議
地域移行部活動の検討

●今後に向けて 黄色網掛けは移行重点部活動 卓球・バドミントン・剣道は移行完了

